

プレゼンテーション技術演習 (二) (2単位)

担当者氏名 佐藤 広顕、渡部 俊弘、遠藤 明仁

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

科学的な内容を聴衆にアピール出来る高度な発表技術を統括的に演習する。毎年、実施している各種講演会やポスター発表等を活用する。
本講義を十分に理解することにより、受講者は独りよがりではない、聴衆のことを考えたプレゼンテーションをすることが出来るようになる。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載) ご自身のキーワードを記入してください

ポスターセッション オーラルセッション ミーティング 学内発表
学会発表 成果報告

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1-3	発表形式1 (遠藤)	ポスター発表用演習	プレゼンテーション技術演習(一)で学んだことを復習しておく(1時間程度)
4-5	発表形式2 (遠藤)	口頭発表用演習	プレゼンテーション技術演習(一)で学んだことを復習しておく(1時間程度)
6-8	プレゼンテーション用データ表記と発表方法 (渡部)	分かり易い作図やフォントの工夫、聴衆に理解させる説明方法について解説	プレゼンテーション技術演習(一)で学んだことを復習しておく(1時間程度)
9-10	質疑応答 (渡部)	質疑応答の方法について演習形式で解説	プレゼンテーション技術演習(一)で学んだことを復習しておく(1時間程度)
11-13	総合演習1 (佐藤)	学内での修士論文発表(中間発表を含む)を目指した総合演習	プレゼンテーション技術演習(一)で学んだことを復習しておく(1時間程度)
14-15	総合演習2 (佐藤)	学会発表を念頭に置いた総合演習	プレゼンテーション技術演習(一)で学んだことを復習しておく(1時間程度)

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

適宜資料を配布

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2000/永井克昇/実教出版(2001)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業参加2/3以上の学生に対して、レポート及び演習で評価する。

◆オフィスアワー

随時

◆その他受講上の注意事項

受け身ではなく、積極的なディスカッションへの参加姿勢を持って受講すること。